

新館

館内案内

- 1F 受付・ホール・シアターコーナー

- 2F 常設展示室・ジョン万次郎展示室・企画展示室

- 2F 映像や音声で龍馬や幕末を学ぶ「幕末広場」
「海の見える・ぎやらしい」

- 1F ミュージアムショップ

- B1F 「図書コーナー」の他、
土佐藩船「夕顔」の模型などの展示

- B2F 幕末の要人を古写真で紹介する「幕末写真館」



海の見える・ぎやらしい(本館2階)



龍馬が落命した京都・近江屋八畳間の
実物大復元模型(本館2階「幕末広場」)



幕末写真館(本館地下2階)



ミュージアムショップ(本館1階出口)

周辺のご案内

桂浜・坂本龍馬像・桂浜水族館 徒歩10~15分

樺の小道(やや急な階段)をおります。

浦戸城天守台跡 本館出口前すぐ

周辺には浦戸城石垣、堀切などの史跡、
遺構もあります。

高知灯台 当館より徒歩3分

展望台から太平洋を眺めることができます。

県立牧野植物園・五台山竹林寺 車で約30分

利用案内

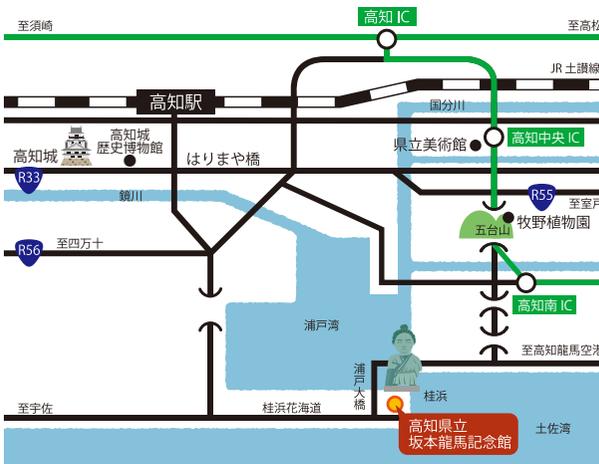
開館時間 午前9時~午後5時(最終入館 午後4時30分)
休館日 年中無休
(暴風雨や施設メンテナンス等のため臨時休館となる場合があります。
当館HPでご確認ください)

入館料 一般(18才以上) 企画展開催期間 900円
 展示替期間 500円
 団体(20名以上) 企画展開催期間 720円
 展示替期間 400円

高校生以下無料
 高知県または高知市の長寿手帳所持者は無料

- ◆以下の手帳をお持ちの方(ご本人様)と介護の方1名は無料となります。
 ・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳
 ・被爆者健康手帳
- ◆バリアフリーやお困りの際のご案内
 ・多目的トイレ(新館・本館 各1つ)
 ・オストメイト(新館)
 ・車椅子、ベビーカー(貸出/新館受付でお申し出ください)
 ・授乳室、救護室(本館・地下1階)
- 資料保存のため、館内でのご飲食はご遠慮いただいております。お食事等は桂浜公園
 内のレストランをご利用ください(館内にレストラン、カフェはございません)。
 なお、本館の中2階では飲料物の自動販売機を備えております。(お食事はご遠慮ください)

アクセス



- 路線バス とさでん交通バスまたはMY遊バス「桂浜」行
 「龍馬記念館前」下車徒歩2分(JR高知駅から30~40分)
- 車 JR高知駅から約30分、高知龍馬空港から約25分、
 高知自動車道「高知南IC」から約15分
- 駐車場 普通車42台(うち障害者専用駐車場2台)バス3台
 ※桂浜荘のリニューアル工事のためバスでのご来館予定の方は、
 事前にご予約をお願いいたします(原則、先着順です)
 ※駐車場のご利用は無料です

※5月ゴールデンウィークなどは桂浜公園内の無料送迎を行う場合があります。

高知県立坂本龍馬記念館
 The Sakamoto Ryoma Memorial Museum
 公益財団法人高知県文化財団
 〒781-0262 高知県高知市浦戸城山830
 TEL 088-841-0001 FAX 088-841-0015
 mail ryoma@ryoma-kinenkan.jp
 ホームページ <https://ryoma-kinenkan.jp/>

高知県立坂本龍馬記念館
 The Sakamoto Ryoma Memorial Museum



Museum Calendar

ミュージアムカレンダー
 令和8年4月~令和9年3月

🔍 坂本龍馬記念館 検索



ホームページ



X (旧Twitter)



Facebook



Instagram



YouTube

企画展

- 様々な視点で坂本龍馬や幕末史に迫る企画展・特別展・収蔵品展を年6回開催いたします。
- 会期中には記念講演会や学芸員による展示解説の他、当館公式SNS(X、YouTube、facebook、Instagram)でも解説や資料紹介などを公開いたします(随時更新)。
- 記念講演会の聴講申込は開催月の前月1日の午前9時からとなります。(例:6月開催の記念講演会⇒5月1日午前9時から申込受付)

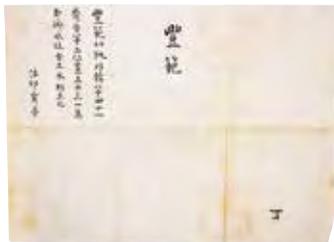
企画展 「郷土坂本家の秘蔵」展

4月7日(火)まで開催

企画展 「武家社会における名前」展

4月25日(土)～6月21日(日)

古今東西の社会において、「名前」は社会生活を営む上で不可欠なツールですが、それぞれの時代や地域によって、名前の実態やそれを巡る慣習は大きく異なっています。本展示では江戸時代の武家社会における「名前」を取り上げます。「名前」という切り口から、武士という存在や彼らが生きた江戸時代の武家社会の在り方を紹介し、理解を深めます。



山内豊範講案
(高知県立高知城歴史博物館所蔵)

企画展 「幕末行列—光と影の世界—」展

7月4日(土)～8月31日(月)

前期 7月4日(土)～7月30日(木)
後期 8月1日(土)～8月31日(月)
※7月31日(金)は展示替のため閉室

江戸時代の行列として有名なものは、参勤交代の際に見られる大名行列ですが、政局がめまぐるしく変化する幕末には、これ以外にも様々な行列が見られます。本展では幕末期に見られた山内豊範の参勤交代・和宮の降嫁・徳川家茂の上洛を題材に、その経路や背景を紹介し、特に、降嫁・上洛前後の様子や、行列にかかわる地域の様子に触れることで、行列の華々しさを描きつつ、その裏で行列を支えた人々の苦悩を取り上げます。



側衆発給受領返書(当館所蔵)

龍馬月間 11月1日(日)～11月30日(月)

「龍馬月間」では、全国の龍馬ファンはもとより、県内外の多くの方に、坂本龍馬の魅力への理解と関心を深めていただき、龍馬をより身近に感じていただける企画を開催します。

龍馬記念館 11月15日(日) 無料開館日

龍馬の生誕日&開館記念日の11月15日は無料開館日です。どなたさまも無料でご入館いただけます。

特別展

よさこい高知文化祭2026関連企画 「土佐ゆかりの刀剣」展

10月10日(土)～12月6日(日)

令和8(2026)年は、廃刀令から150年という節目の年になります。坂本龍馬は、無類の刀好きで、土佐藩の刀工だった左行秀や吉行をはじめ、多くの刀を手にしていました。本展では、こうした刀好きな龍馬の一面や、幕末土佐藩の人々が手にした土佐ゆかりの刀剣を紹介するとともに、武士にとって刀はどのような意味を持っていたのかを考え、理解を深めます。



清岡道之助佩用 短刀(当館所蔵)

企画展 「幕末土佐の天保庄屋同盟」展

令和9年2月20日(土)～4月11日(日)

献金によって身分を取得できてしまう幕末という時代において、村役人たちは自分たちの地位・職分に悩まされていました。そんな中、土佐の庄屋たちは「天保庄屋同盟」という尊王思考を持った同盟を秘密裏に結びます。後に土佐勤王党への村役人層の参加に繋がった「天保庄屋同盟」から、幕末の土佐の庄屋の動きや土佐勤王党に至るまでの流れを他藩との比較と共に紹介します。



歴代相傳古證文系圖(部分)
(高知市立市民図書館所蔵 細木家資料)

収蔵品展

●当館収蔵品より、次のテーマで特集展示をいたします。

収蔵品展Ⅰ 「幕末維新期の文化」展

9月8日(火)～10月2日(金)

時代の変わり目は、政治や社会が大きく変化するだけでなく、油彩画(洋画)や写真のような新しい文化・芸術が芽生える時期でもあります。収蔵品の中から、幕末維新期の作品を選び、国澤新九郎油彩画「坂本龍馬」や坂本直行油彩画、河田小龍の日本画、「浄瑠璃本」などを展示します。

収蔵品展Ⅱ 「土佐藩京都藩邸史料を読み解く」

12月14日(月)～令和9年2月13日(土)

土佐藩京都藩邸は、現在の大使館のようなもので、京都における外交の拠点であり、情報収集の拠点でもあります。そのため、本史料群には、幕末に起こった様々な事件が記録されています。本展ではいくつかのテーマを選び、関連史料を読み解くことで時代背景を紹介いたします。

常設展示室・音声ガイドのご案内

- お客様ご自身のスマートフォンやタブレット端末で、常設展示の解説をお聞きいただけます。日本語の他、英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語・タイ語の解説を聞くことができます。(詳細はお問合せください。)
- 博物館の解説アプリ「ポケット学芸員」もご利用いただけます。

イベント

※各イベントの詳細及び館主催の企画については、ホームページやSNSなどで告知いたします。

講演会

6月～令和9年3月までの毎月、企画展の記念講演会のほか、テーマを決めた連続講演会や特別講演会を開催いたします。

- 場 所 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール
- 定 員 70名(要事前申込・先着順)
- ★各回ごとにお申し込みください。開催月の前月1日から受け付けます。(例:6月開催の講演会⇒5月1日から申込開始・受付)

*複数回まとめたの受付はご遠慮ください。
*詳細は追ってお知らせするホームページやチラシでご確認ください。

りょうまとマナボウ!アソボウ!

本館「海の見える・ぎやらりい」を中心に、ワークショップや紋服体験、学芸員トークなどを通して、「龍馬を知る、龍馬と遊ぶ」イベントを行います。

- 開催日 6月～年5回開催
- 会 場 本館「海の見える・ぎやらりい」ほか

シーズナル・イベント

季節ごとに週末や連休を中心に、ワークショップや展示解説・謎解きクイズなどを行います。

- ハッピーバースデー龍馬像98th(5月)
- りょうま館の夏休み(8月)
- 龍馬月間(11月)
- りょうま館のお正月(令和9年1月初旬)
- 歴史の面白さを学ぼう(令和9年2月)

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会研究発表会

※どなたでも聴講できます。

- 日 時 6月20日(土)
- 会 場 新館ホール
- 講 師 尾脇秀和さん
(神戸大学経済経営研究所研究員、花園大学・佛教大学非常勤講師)
知野文哉さん
(坂本龍馬研究者)

ウォーキングイベント・史跡巡り

高知県内のスポットをゆっくり歩いて見学し、新たな発見や学びを楽しんでいただく、歴史ウォーキングイベントです。(高知市内予定)



- 開催日 12月6日(日)*予定
 - 定 員 20名程度(事前申込・先着順)
 - 申 込 11月初旬から申込受付(予定)
- *要参加費

各イベントの詳細及び館主催の企画については、ホームページなどで告知いたします。

常設展示室

坂本龍馬の生涯と幕末

龍馬の生涯と活躍、そして幕末史の意義深さを、龍馬の手紙を中心に様々な資料を通して紹介しています。龍馬の真筆書簡を常に展示するほか、歴史の面白さや興行きを体感できる真物の特別展示も随時行います。



龍馬愛用の臨差など、歴史の息吹を体感する真物の特別展示も行います。

(展示環境整備のため)下記の期間は常設展示室を閉室します。
6月4日(木)～11日(木)、令和9年1月14日(木)～21日(木)

ジョン万次郎展示室

漂流後アメリカ捕鯨船員となり、西洋文化や英語を体得した後、自力で帰国した「ジョン万次郎(中濱万次郎)」に関する資料を展示しています。



常設展示室・全景



手紙(複製を含む)や歴史史料群を通して、龍馬の生涯と幕末史を紹介。

